



PCB

LOW-CONCENTRATION
PCB WASTE TREATMENT BUSINESS.

低濃度 PCB 廃棄物 処理事業

環境省 大臣認定番号 令和5年 第3号 取得

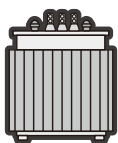


第二営業部 PCB 処理担当部

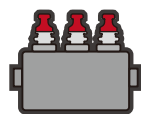
処理対象物



絶縁油等
汚染廃油処理



トランス



コンデンサ



ブッシング



OFケーブル



汚染物入り
ドラム缶



空ドラム缶



塗膜・塗膜くず



可燃性汚染物
(5,000ppm超～
100,000ppm以下)



日本最大規模の 処理施設



トランス、コンデンサ等電気機器の筐体、木くず・紙くず、汚泥等の汚染物入りドラム缶、さらに OF ケーブル等、すべての低濃度 PCB 廃棄物の処理が可能です。

燃焼設備

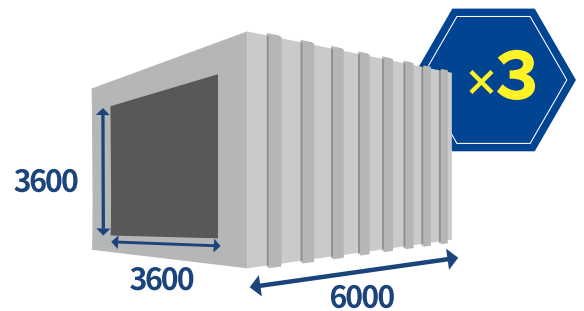
向流式ロータリーキルン	2基
トンネルキルン	1基
バッチ式焼却炉	3基
大型シャトルキルン	3基

処理能力

最大処理能力	合計 約 140t/日
廃 PCB 等	約 31.92kℓ/日
トランス・コンデンサ・OFケーブル等	約 105.4t/日
汚染物入りドラム缶	48 本/日
空ドラム缶	96 本/日
可燃性汚染物 (5,000ppm 超～100,000ppm 以下)	7.2t/日



トンネルキルン



大型シャトルキルンの導入により、大型機器の処理がよりスピーディになりました。



大型シャトルキルン



PCB含有のおそれがある高圧コンデンサやトランス等の廃棄物は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」によりPCB含有の有無を確認の上、2027年3月31日までに処理することが義務づけられています。弊社では複数の分析方法を採用し、PCB分析において最適な分析方法を選択することで迅速かつ正確な分析を行います。

当社関連部門とのワンストップサービスにより、**経済的で安心・安全な業務**を迅速に行い、よりよい環境づくりにむけて取り組んで参ります。

産業廃棄物
PCB含有廃棄物
汚染土壌
廃石綿等

試料採取

分析

PCB廃棄物

汚染土壌
廃石綿等

その他
産業廃棄物

対策工事

収集運搬・処分

計量証明事業・環境調査

最新鋭の分析機器を整備・迅速かつ信頼性の高い分析を実施

- 水質分析
- 大気分析
- 廃棄物分析
- 土壌分析
- 放射能測定
放射線量率測定
- PCB分析
- 作業環境測定等
- アスベスト分析
- その他

環境修復

土壌汚染地の現地調査・最適な無害化方法の提案
経済的で迅速な施工



啓発事業

環境科学に関する研究

PCB分析業務の他にも、廃棄物、土、水など環境問題の解決を目指し、幅広く測定・分析業務を行っています。

官公庁はじめ業界各位の環境関連のご要望に鋭意積極的に対応し、信頼性の高い分析を行い、皆様のお役に立ちたいと考えております。

PCB分析から最終処分までの ワンストップサービス

「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」では全てのPCB廃棄物の処理期限を2027年3月31日と定め、保管事業者には処理が義務付けられています。

弊社では、低濃度PCB廃棄物処理に対して分析から最終処分までを行う一貫処理体制を確立いたしました。迅速かつ確実に分析・処理することで保管事業者の皆様のご負担を軽減し、環境への負荷を最小限に抑制して、地域の皆様に貢献できるよう専門事業者としての務めを果たしてまいります。



日本最大規模の 大型保管施設

PCB 処理のために日本最大規模の保管施設を建設し、お待たせすることのない受入体制が整いました。天井クレーン、専用フォークリフトを備え、搬入車輛に合わせた安全確実な受入が可能です。さらに万が一の漏洩等の事故に備え、床全面にはエポキシ不浸透膜塗装を施し、施設周辺に側溝を設け万全な保管施設としました。



PCB専用貯蔵タンク 300kℓ (150kℓ×2基)

施設保管容量	約 2,000 ^m 2
大型機器等保管施設	約 1,000 ^m 2
その他・低濃度 PCB 廃棄物等保管施設	約 1,000 ^m 2

安心安全な施設

処理施設は、現在懸念されている南海大地震に備え、全ての施設に十分な耐震性を有し安全な施設となっております。



低濃度PCB廃棄物を取り扱う抜油室及び抜油・解体室では、減圧した室内で作業を行い、出入口には二重高速シートシャッターを設け飛散対策も万全です。



社員教育の一貫として、緊急時の防災訓練等を定期的に行っています。



徹底管理

バーコードシステムを導入し、委託された廃棄物ひとつひとつ処理工程ごとに管理する体制を整備しています。

受入までの流れ

お問い合わせ

PCB
含有量分析

PCB含有量試験結果の確認

処理計画のご提案・見積書のご提示

委託契約書 締結

現地解体

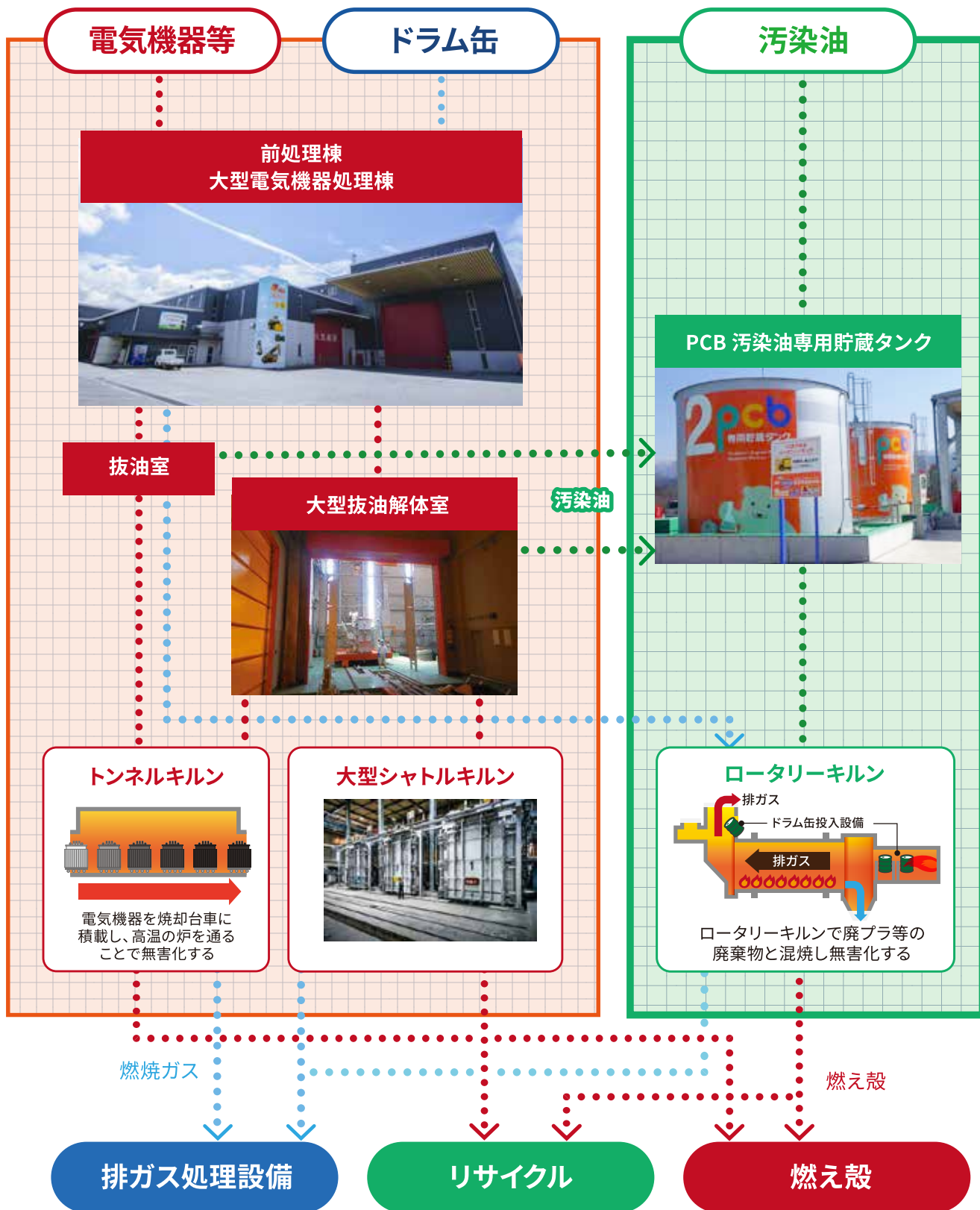
運搬が困難な場合は
自社による
現地解体を実施

収集・運搬

受入

オオノ開発による
ワンストップ
サービス

処理の流れ



処理後の電気機器及びドラム缶等の燃え殻、排ガス及び事務所内外の環境試料の定期的な分析を行い、PCBの無害化処理が確実にできていることを確認します。

お客様とのお約束

迅速で丁寧な対応をいたします。

法律を遵守し、適正に処理いたします。

安心で安全な処理計画をご提案いたします。

お客様のご負担の軽減に努めます。

PCBに関するお問い合わせはこちらまで

営業時間 / 月～土曜日 (8:00～17:00)

 **0120-196-667**

メールアドレス  dai2@oono-associates.jp

オオノ開発株式会社 第二営業部 PCB 処理担当部

本社事務所

〒791-0242 愛媛県松山市北梅本町甲 184 番地
TEL 089-909-7644 FAX 089-976-8700

オオノ・ラボ (環境科学研究センター)

〒791-0321 愛媛県東温市河之内乙 858 番地 2
TEL 089-955-8131 FAX 089-966-4147

東京支店

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1 丁目 6 番 1
丸の内センタービルディング 4F
TEL 03-6205-7291 FAX 03-6205-7292

大阪支店

〒541-0054 大阪市中央区南本町 3 丁目 6 番 6 号
船場エコービル 2F
TEL 06-6227-8706 FAX 06-6227-8716

名古屋支店

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 6 番 17 号
名古屋ビルディング 13 階 1301
TEL 052-433-3181 FAX 052-433-3182

フレップ知多 (知多事業所)

〒478-0046 愛知県知多市北浜町 11 番地 1
TEL 0562-39-5380 FAX 0562-39-5381

九州支店

〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町 8-17
いちご博多明治通りビル 3 階
TEL 092-260-1071 FAX 092-260-1072

フレップとうおん (低濃度 PCB 廃棄物処理事業所)

〒791-0321 愛媛県東温市河之内乙 825 番地 3
TEL 089-966-4141 FAX 089-966-4613



ACCESS

オオノ開発(株)本社

松山空港より 車で約 45 分
川内 IC より 車で約 10 分

フレップとうおん

松山空港より 車で約 60 分
川内 IC より 車で約 10 分

オオノアソシエーツ

検索